

# 令和2年度 学校評価結果公開シート

敬応学園幼稚園

## 1、本園の教育目標

自分で考え行動出来る「生きる力」をつけられるよう、立派な人格を持った人間の育成のため、幼稚園教育要領と浄土真宗の精神に基づき、宗教的情操を高め、一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな環境でのびのび素直な子どもを育てることを目標とする。

- ★よい生活習慣を身につける
- ★感謝の気持ちを持つ
- ★自然の恵みを喜び、生かされていることに気づく

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

☆外部の研修会に参加し、教師としての資質を向上させる  
☆様々な保護者との連携をとり、信頼関係を築く  
☆専門的な知識を得る  
☆園の方針、目標の理解を深め「生きる力」を身につけるため  
「自分でできることは自分でする」ことを年齢や発達段階に応じて、保育を推進する

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取組状況
1 教育環境設備	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・園庭に熱中症対策による、日よけテントを増加し、ウォーターミストを設置した。</li><li>・自然に触れ合う場所（畑など）を増やし、緑豊かな自然環境を維持し、整備や管理を行う。</li><li>・総合遊具の補修を行い、のびのび過ごせるよう、安全性を高めた。</li><li>・以前からの保護者の声（運動会時、音が聞こえにくいなど）や要望により、園内・外の放送設備の取り替えをし、音響性能の改善を図った。</li></ul>
2 安全対策	A	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練は毎月一度、地震・災害の避難訓練や不審者による防犯訓練を行うことで安全管理を確認し教職員の危機管理意識を高めることが出来た。</li><li>・降園お迎え時、密にならないよう、各クラス別で待つ場所を広げ、環境設定を行った。</li><li>・コロナ対策や対応の備品の購入・備蓄を行い、感染拡大防止の為、日々の保育や行事を綿密に計画</li></ul>

		し、対策に努めた。
3 保育内容 子どもの表現能力の向上	A	・様々な体育活動を行い、運動感覚や能力を高め、健康な体作りに努めた。
基本的な生活習慣	B	・挨拶をする・衣類の着脱・排泄・トイレのスリッパを並べる・順番を守るといった決まりや基本的な生活習慣が、身に付けられるよう取り組み、気に掛ける子どもが増えているが、全体としては達成に届いていないため、引き続き、気付けるよう努めている。
4 教職員の資質向上	B	・担任と子育て経験のある補助教員との信頼関係をもとにより緊密な連携をし、子ども一人ひとりに関心を寄せながら温かく見守り、子どもの心に応答するよう心掛け、子どもたちとより深く関わる環境を達成し充実を図った。 ・保健衛生はマニュアルによる救急・感染症や嘔吐物などの対処法の確認、新型コロナウイルス感染拡大防止により、消毒の仕方を周知し、対策を行っている。
5 研修と研究	B	・オンライン研修に参加し、学んだことを資料にまとめ、職員同士話し合い、意見交換することにより、日々の保育がマンネリ化しないよう努め、資質向上を図った。 ・体育専門教師による計画的指導により、体操あそびを通して、子ども達の運動能力を高めるとともに、友達同士の団結力や思いやりが育ち、関わりを深め考える力を養うよう努めた。
6 子育て支援の充実	B	・早朝保育（7時30分～）、超過保育（17時～18時30分）の時間延長を実施。 ・未就園児（ひよこくらぶ）の活動内容・回数を増やし、2学期から母子分離保育を実施し園に慣れ親しむことで保護者からの安心確保をすることが出来た。また数時間の分離時間を設ける事で、保護者の育児や生活へのストレスなどの軽減を図ることが出来た。また、同年代の保護者同士の交流や子育て相談できる機会を設けることで、情報交換の充実を図った。

7 子どもの成長の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人に寄り添い、個々の内面を理解し、認める中で、自信につながるよう努めた。</li> <li>・ありがとう、ごめんなさいなど、感謝の気持ちを大切にし相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを素直に伝えることが出来るよう努め、思いやりの心を養うことが出来た。</li> </ul>
8 新型コロナウイルスの影響について	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の緊急事態宣言により、解除されるまでの間、臨時休園をした。</li> <li>・臨時休園時、SNS を利用し、家で取り組める事を提供した。</li> <li>・卒園式の時短や入場制限を行った。</li> <li>・その他の行事を取りやめた。</li> <li>・消毒液等の備品の整備を行った。</li> </ul>

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>取り組むべき課題の為、具体的な実施内容や方法を全職員が日々話し合い、共通理解することで教職員が一人ひとりの子どもを見る視点に意識変化がみられた。今後も客観的な視点で自らの教育を見直し、さらに充実した実践ができるよう努力を重ねてほしい。</p>

#### 【達成度の表示方法・評価の基準】

- A：十分に達成されている。
- B：達成されている。
- C：取り組まれているが、達成が十分でない。
- D：取り組みが不十分である。

#### 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
1 教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の様子をよく観察し、成長や変化に気づけるようにする。ひとりひとりの子どもの良さを認め、教員が客観的に子どもを見る目を養うよう努める。</li> <li>・これまでの保育カリキュラムの編成の見直し、マンネリ化の保育にならぬよう保育活動の更なる充実を図る。</li> <li>・現状の教育課程に満足せず、保育内容やコーナー遊びが出来るようスペースの工夫や昔遊びの復刻を取り入れるなど全職員が提案し実施する。</li> <li>・外部研修や園内研修を通し、教員の専門性・資質を向上し、保育に反映する。</li> <li>・職員間への連絡事項や情報の伝達の徹底に努めたが、まだ十分</li> </ul>

	<p>でない。伝達連携の重要性を踏まえ、各自、保育や責任感などを見つめ直し、疑問や改善点など職員間の意見交換を今後の課題とし、資質向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・保護者との連携を大切に更なる信頼関係の向上に努める。</li> </ul>
2 教育環境設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定遊具や施設の破損、修理ができていない箇所があるため、点検、修復、安全性を強化させる。</li> </ul>
3 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝保育（7：30～）と超過保育（17：00～18：30）の時間延長を実施する。</li> <li>・未就園児（ひよこくらぶ）の活動の内容・回数を増やし充実させ、園の特色や子育て相談できる機会を増やす。</li> </ul>

#### 6、学校関係者評価委員会の意見

- ・子育て経験のある教職員が多く、丁寧にひとりひとりの子どもを見守り、把握しながら職員が保育にあたっているという評価を受ける。
- ・自然に囲まれた幼稚園であり、食育に力を入れ、保育の中でも自然に子どもたちがふれ合うことができる環境が素晴らしいという評価を受けた。
- ・園の対応や設備の改善が行われている。

#### 7、園児募集について

- ・入園説明会を実施するだけでなく、個別に相談を受け付け丁寧に対応した。
- ・未就園児ひよこくらぶの参加から誕生日を迎え、満3歳児クラスに入園する子が多く見られるにあたり、ポスターやネットなどで参加募集をするとともに、入園募集へと促す。